

## 第三次産業分野に係る動態統計の整備の目的・必要性(たたき台)

### 統計の必要性

分散型の統計機構の下で、多くの府省の所管にまたがる第三次産業（サービス産業）に関する統計は個々の業種ごとにいわばモザイク状に整備が行われている現状にある。

特に、QE（四半期別GDP速報）作成の基礎統計として、現在は一部の業種のみに限られている月次ベースの統計がサービス産業全体の動向を概括的に把握するものに拡充されることへの期待が高い。

このような状況を踏まえ、QEを始めとする各種経済指標の精度向上等幅広い観点から、サービス産業に係る動態統計が未整備の分野の存在を踏まえ、新たな動態統計を創設することにより、第三次産業全体の動向を概括的に明らかにする統計の整備を図る。

### 統計の目的

QEを始めとする各種経済指標の精度向上への寄与

第三次産業（サービス産業）全体の概括的な動向把握

既存の統計等と併せた第三次産業全体の動向把握のための統計の体系的整備

など

### 論 点

上記以外に、統計の目的及び必要性について、盛り込むべきものはないか。

掲げられた統計の目的・必要性のうち、特に何に重点を置くか。